

VI

海外大学・機関との交流(年次報告(平成28年度後期  
・29年度前期))

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-03-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 松田, 紀子, ライアン, 優子 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/00024882">https://doi.org/10.14945/00024882</a>

## VI. 海外大学・機関との交流

松田 紀子／ライアン 優子

### 1. 大学間・部局間交流協定

当該期間に、次の6件の大学間協定、5件の部局間協定が新たに締結された。

(協定校名(国名) 署名日)

#### 〈大学間交流協定〉

マレーシアプトラ大学(マレーシア)	2016.12.14
ウクライナ国立技術大学(キエフ工科大学)	2017.1.25.
シーナカリンウィロート大学(タイ)	2017.2.10.
インド工科大学ハイデラバード校(インド)	2017.3.6.
トゥンフセインオンマレーシア大学	2017.8.22.
モルドバ国立大学(モルドバ)	2017.6.28.

#### 〈部局間交流協定〉

□工学部・総合科学技術研究科 アムール国立大学物理工学部(ロシア連邦)	2016.10.14
□理学部 マチュン大学理工学部(インドネシア)	2017.7.12
□農学部 アッサム大学生命科学部(インド)	2017.10.20
□人文社会科学・人文社会科学研究科 コンプルテンセ大学スペイン語教育センター(スペイン)	2017.1.19
開南大学 人文社会学院(台湾)	2017.3.7.

#### 〈プログラム覚書〉

□博士課程ダブルディグリープログラム ガジャマダ大学(インドネシア)	2017.2.27
□修士課程ダブルディグリープログラム トゥンフセインオンマレーシア大学(マレーシア)	2017.8.22.
□修士課程ダブルディグリープログラム 台湾国立中央大学	2017.2.20.

### 2. 海外同窓会活動・海外における静岡県内自治体、企業との連携

国際交流センターは、各国の卒業生のネットワーク強化と、海外の活動における静岡県の自治体、企業との連携推進に努めている。その一貫として、平成29年3月4日にベトナム・ハノイ市内において、静岡大学海外同窓会のベトナム支部の立ち上げ会を開催した。海外同窓会は、平成24年7月のインドネシア、平成26年3月のタイに続いて、3支部目となる。

同会には、ホーチミンやハイフォン、ダナンなどベトナム各地はもちろん、日本からも元留学生がかけつけ、静大卒業生を含む静岡県内外の企業のベトナム拠点駐在員や静岡県

人会の方々、協定大学と静岡大学の教員、海外職員研修として参加する本学職員も加わり、総勢43名の集まりとなった。

日 時：平成29年3月4日(土) 午後14：30～18：00（14：00受付開始）

14：30～16：00 同窓会運営会議

16：30～18：00 ネットワーキング懇親会

場 所：Fortuna Hotel

参加者：43名（登録51名） \*カッコ内は登録数

- ①本学同窓生 22名：留学生 18名（23名）、日本人4名 [本学職員1名含む]
- ②企業関係者 8社8名（9社9名）、うち元本学日本人卒業生2名含む
- ③静岡県人会 1名
- ④協 定 校 4名： ベトナム国家大学ハノイ外国語大学 Ngo Mihn Thuy 副学長、  
ベトナム国立林業大学 Pham Van Chuoung 副学長、ほか
- ⑤本学関係者 11名：前田事務局長、鈴木副学長、国際交流センター・グローバル企画推進室教職員6名、海外職員研修3名

### 3. 海外拠点整備

#### 1) タイ海外事務所（平成21年11月開設、タマサート大学東アジア研究所内）

前期に引き続き当該期間も非常勤スタッフが週に一日の活動を行った。主な活動内容は、タイからの留学生の派遣支援活動で、アジアブリッジプログラムを中心とする静岡大学の広報、タイにおけるアジアブリッジプログラム学生の短期研修の運営補佐等である。

- ・JASSO日本留学フェア等の広報イベントへのブース出展
- ・アジアブリッジプログラム副専攻学生向けタイ海外研修の運営支援
- ・高校生を対象としたアジアブリッジプログラムの広報活動
- ・タマサート大学東アジア研究所内事務所設備の管理

#### 2) インドネシア海外事務所（平成22年2月開設、ガジャマダ大学UGM農学部内）

当事務所には、平成25年1月より非常勤スタッフ（現地相談員）を配置するとともに、Skype用スクリーンを設置し、インドネシアにおける活動を活発化させるためのインフラ整備が充実している。事務所スタッフの活動としては、本学教職員の現地訪問時や、毎年農学部がガジャマダ大学と協力し「海外フィールドワーク」科目として1週間の現地実習を行う際の現地のコーディネート、交換留学学生派遣・受入れに関する支援・調整、元留学生の情報収集およびデータベース整理を通じた同窓会活動支援等がある。

また、インドネシアでは、平成27年3月からインドネシア大学工学部の厚意で提供いただいているスペースに設置したSkype用スクリーンやパソコンを活用して、本学とインドネシア大学をつなぐSkype会議を重ねて開催するなど、交流活動をさらに活発化させている。

#### 3) ベトナム海外事務所（平成27年3月開設、ベトナム・ハノイ国家大学外国語大学内）

ハノイ外国語大学内にSkype用スクリーンやパソコンを本学から提供して設置し、本学

教職員の現地訪問時の活動拠点としている。

#### 4. インターアカデミア・アジア Inter-Academia Asia 2016

「インターアカデミア・アジア」は、アジア地域（主に東南・南アジア地域）の協定大学と連携し、アジアを中心とする海外で活躍するグローバル人材育成のための新たな教育プログラム「アジアブリッジプログラム（ABP-SU）」の実施に向けた協力体制の構築や、修士課程に焦点をあてた研究・教育における交流促進を主な目的として、2014年2月の準備会合を皮切りに、原則年1回の会議を開催している。2016年12月の第3回会議は、初めて海外協定校（インド・SRM大学）が主催校としての開催となった。

平成28年11月28日から30日までの3日間、インド・チャンナイのSRM大学を主催校として、アジアの協定校との国際会議インターアカデミア・アジア第3回会議が開催された。会には9か国から11大学、100名を超える参加者が集まり、静岡大学からは、鈴木滋彦教授（副学長：国際戦略）、佐古猛教授（総合科学技術研究科長、工学部長）、早川泰弘教授（電子工学研究所）をはじめ、9名の教員と13名の修士学生が参加をした。

会議では、修士学生による25件の研究発表、約50件のポスター研究発表、SRM大学の学生によるモノづくりプロジェクトの紹介、猪川洋教授（電子工学研究所）と早川邦夫教授（創造科学技術大学院）による招待講演、参加大学の修士課程における国際化の取組に関するミーティングが行われた。またチェンナイ市外の世界遺産マハーバリプラムも訪問した。SRM大学の教職員、学生の協力で、円滑に会議が運営され、多くの異なる国の大学の学術関係者、修士学生が交流を深めることができた。

会議としては今回で3回目を迎えるインターアカデミア・アジアの会合には、累計で10か国26大学が参加をしている。今回の会議においては、修士課程の教育・研究の国際化を焦点に、今後も各国の大学の連携を強めていくことを確認した。

##### 〈参加大学〉

ダッカ大学（バングラデシュ）	ハノイ国家大学外国語大学（ベトナム）
ペラデニヤ大学（スリランカ）	香港科技大学（中国）
キンモンクット大学トンブリ校（タイ）	アンナ大学（インド）
カセサート大学（タイ）	SRM大学（インド）
マレーシア工科大学（マレーシア）	静岡大学（日本）
ガジャマダ大学（インドネシア）	

##### 〈参加者〉

- ・ 教員：静岡大学10名、IAA参加大学8名、SRM大学
- ・ 修士課程学生研究発表

口頭：静岡大学12名、IAA参加大学8名、SRM大学5名

ポスター：静岡大学5名、IAA参加大学4名、SRM大学58名（エントリー）

#### 5. インターアカデミア Inter-Academia 2017

平成29年9月25日から28日までの4日間、中東欧の協定校との国際会議「第16回Inter-

Academia 2017」が、アレクサンドル・イワン・クザ大学（UAIC、ルーマニア・ヤシ市）で開催された。12か国から81名が集まり、静岡大学からは、石井潔学長、原和彦教授（創造科学技術大学院長）、三村秀典教授（電子工学研究所長）をはじめ、29名の教員と大学院生が参加した。

オープニングでは、アレクサンドル・イワン・クザ大学の研究担当副学長Ionel Mangalagiu教授、本学の石井学長、前回会議実行委員長Ryszard Jablonski教授からご挨拶があり、続けて、近藤淳教授（本学創造科学技術大学院）およびLucel Sirghi教授（本会議副実行委員長、アレクサンドル・イワン・クザ大学）による基調講演が行われた。また、2日目には小野行徳教授（本学電子工学研究所）およびVolodymyr Gnatyuk教授（V. E. Lashkaryov Institute of Semiconductor Physics of the National Academy of Sciences of Ukraine）から、3日目にはI. Semechenko教授（ゴメル国立大学）から基調講演があった。

4日間を通して62件の口頭・ポスターによる研究発表、17名の大学院生を中心とした若手発表者によるポスター及びショートプレゼンテーションが行われた。これらの発表論文はアブストラクト集として公表されると共に、選定された論文についてはSpringer社よりプロシーディングス“Recent Advances in Technology Research and Education”として既に出版・公表されている。また、ショートプレゼンテーション参加者対象のYoung Researchers Awardでは、静岡大学院生3名を含む、6名が受賞をした。

会期中に、石井学長および本学国際交流センターの松田教授が、アレクサンドル・イワン・クザ大学の国際交流担当副学長Henri Luchian教授、欧州エラスムスプラスプログラム担当Gina Marinescu氏教授とミーティングを行い、博士課程ダブルディグリープログラムを中心とする各種国際研究・教育プログラムの実施など今後の両大の交流について話し合った。また、国際実行委員会では、第17回（2019年）会議の開催地に関する議論、Young Researchers Awardの審査を行うと共に、国際共同研究および国際的な協働教育体制による若手人材育成などInter-Academiaを通じた国際交流のさらなる活性化について情報・意見交換を行った。

来年（2018）の17回目のインターアカデミアは、カウナス工科大学（リトアニア）を幹事校として、9月に開催を予定である。

なお、石井学長は、インターアカデミアに参加後、近隣の協定校であるマサリク大学（チェコ・ブルノ市）、コメニウス大学（スロバキア・ブラチスラバ市）を本学学長として初めて訪問した。両大学の学長・副学長との懇談を通じて、今後も広く学術・学生交流が展開するようあらためて双方で努力することが合意されるとともに、在スロバキア日本国大使館訪問での片元雅弘参事官、大草真紀二等書記官（広報文化担当）との懇談のなかで、今後大学が大使館と提携して大いに協力し、2国間の交流がさらに発展することに双方努力していくことが表明された。

## 6. 日本学生支援機構「海外留学支援制度（協定受入・協定派遣）」

本事業は、学生の超短期での海外派遣・受入れを推進することを目的として平成23年7月より開始された奨学金事業「留学生交流支援制度（ショートステイ・ショートビジット）」（3か月未満）を一部取り込んで、平成25年度には「留学生交流支援事業（短期受入・短

期派遣)」(短期研修・研究型：8日以上1年以内、交流協定留学型：3か月以上1年以内)、ついで平成26年度には「海外留学支援制度(短期受入・短期派遣)」(双方向協定型：1 Semester以上の交換留学、短期研修・研究型：8日以上1年以内)、さらに平成27年度には「海外留学支援制度(協定受入・協定派遣)」(双方向協定型：1 Semester以上の交換留学、短期研修・研究型：8日以上1年以内)として実施されているものである。高等教育機関には、交流校との間で短期の学生の派遣・受入れの教育プログラム(単位付与を伴う)を構築することが期待され、このプログラムに参加する学生に一定の奨学金が支給される。

当該時期における本学の採択状況および延べ参加学生数は、以下のとおり。

平成28年度：3件(申請9件)、延べ98名

平成29年度：1件(申請8件、追加採択対象5件)

## 7. 博士課程ダブルディグリー特別プログラム(複数学位制度、DDP)

当該期間に、あらたにガジャマダ大学(インドネシア)、トゥンフセインオンマレーシア大学(マレーシア)との同覚書が締結され、計17大学との博士課程ダブルディグリー特別プログラムを展開している(アジア7校、ヨーロッパ10校)。

## 8. 博士課程サンドウィッチプログラム

インドネシア大学と静岡大学は、博士課程サンドウィッチプログラムに関する覚書を交わした。インドネシア政府が博士生の海外での研究活動の奨励し奨学金を支給しているため、同覚書の制度を活用し、インドネシア大学の博士生の静岡大学における短期研究受入を行うことを予定している。

## 9. 修士課程ダブルディグリープログラム(複数学位制度、DDP)

平成29年(2017年)2月に静岡大学総合科学技術研究科工学専攻と台湾国立中央大学工学部との部局間交流協定に基づく修士課程ダブルディグリープログラムの覚書を交わした。これは、静岡大学にとって初めての修士課程におけるダブルディグリープログラムの開講である。平成29年(2017年)度前期に、同プログラム受講生の募集を両校で開始し、両校間で学生の派遣、受入体制の整備を進めている。



## 10. 海外教育機関との往来訪

### 来 訪

10/26、10/28 静岡県サクラサイエンスプログラム 農学部・工学部訪問 モンゴル教育・文化・科学省 Ms. Battsetseg、モンゴル高校生	モンゴル
10/26～11/1 アレクサンドル・イワン・クザ大学講演会・講義・セミナー Dr. Mihai Bulai (エラスムスプラス教育交流プログラム、人文社会科学部・創造学環受入れ)	ルーマニア
10/27 アッサム大学 学長表敬・農学部訪問 Dr. Dilip Chandra Nath (Vice-Chancellor), Prof. Dr. Sanjib Kumar Panda (Vice-Head, Department of Life Science & Bioinformatics)	インド
11/2 カタルニヤ工科大学 国際交流センター・静岡キャンパス訪問 Prof. Antoni Sudria Andrew他、教員・研究者3名	スペイン
11/7 ニューハンプシャー大学 工学部訪問 Assoc.Prof. Yannis P Korkolis准教授・Mr.Gregg Orifici国際交流担当官	アメリカ
11/30 インド工科大学ハイデラバード校 学長 表敬訪問 Uday B. Desai学長、Badarinath Karri博士	インド
12/2-3 インドネシア教育大学、モンゴル教育大学、シーナカリンウィロート大学教育学部ESDフォーラム参加	インドネシア、モンゴル、タイ
12/5 泰日工業大学 国際交流センター訪問 Porn-anong Niyomka Horikawa国際交流担当副学長 Supaporn Hempongsopa国際交流部長	タイ
12/6 日韓学生交流事業(農学部) 静岡大学紹介・協定校交流 慶北大学校教員2名、学生22名	韓国
12/8 山梨大学国際交流センター 国際交流センター訪問 センター長・課長	
12/12 西南物理研究院・中国等離子体物理研究所 国際交流センター訪問・留学生懇親会：教員2名、学生8名 (サクラサイエンス)	中国
12/13 マレーシア大学トレンガヌ校 国際交流センター訪問(静岡) 教員1名、学生 (サクラサイエンス)	マレーシア
1/11 台湾国立中央大学 学長表敬訪問 何正榮機械工学科長他、工学部機械工学科教員5名	台湾
4/20 アンダラス大学 学長表敬訪問、農学部及び理学部訪問 Tafdil Husni学長、教員3名	インドネシア
4/24-27 アレクサンドル・イワン・クザ大学 講演会・講義・セミナー Dr. Lenuta Albaoie (エラスムスプラス教育交流プログラム、情報学部)	ルーマニア

6/19 中国科学院等離子体物理研究所・華中科技大学 国際交流センター訪問・留学生懇親会：教員1名、学生10名（サクラサイエンス）	中国
6/5-9 アレクサンドル・イワン・クザ大学 講義・セミナー Prof. Felicia Iacomi（エラスムスプラス教育交流プログラム、工学部・創造科学技術大学院）	ルーマニア
6/19 キンモンクット工科大学トンプリ校（KMUTT）ものづくりエンジニアプログラム 教職員、学生 19名	タイ
7/3-7 アレクサンドル・イワン・クザ大学 講演会・講義・セミナー Dr. Corina Forascu（エラスムスプラス教育交流プログラム、情報学部）	ルーマニア
7/4 静岡県サクラサイエンスプログラム 工学部訪問 モンゴル教育・文化・科学省 派遣担当者、高校生8名	モンゴル
7/19 タマサート大学科学技術学部 農学部・国際交流センター訪問 Dr. Niramol Sakkayawong 他教員2名、学生1名	タイ
7/20 UNO 学長表敬訪問、学生懇談会、UNO主催レセプション Patrick Mcnamara国際関係学部長他、教員1名	米国

## 往 訪

10/13 ハノイ外国語大学・附属高校 センター教員1名、グローバル企画推進室教員2名	ベトナム
10/14 ベトナム国立林業大学 センター教員1名、グローバル企画推進室教員2名	ベトナム
10/15-16 JASSO日本留学フェア（ハノイ、ホーチミン） センター教員1名、グローバル企画推進室教員2名	ベトナム
10/17 ノンラム大学 センター教員1名、グローバル企画推進室教員1名	ベトナム
10/29-30 留学フェア（スラバヤ・ジャカルタ） センター教員1名、グローバル企画推進室教職員各1名	インドネシア
11/28-30 インターアカデミア・アジア2018（インド・チェンナイ） 静岡大学教員9名、修士学生13名、 アジア（8か国）の協定大学10大学から教員9名、学生9名	インド、インドネシア、タイ、バングラデシュ、ベトナム、香港、マレーシア
2/19-22 グロスタシャー大学 センター教員1名（春季短期留学引率）	イギリス
3/2 ベトナム国家大学ハノイ外国語大学 事務所視察 センター教員2名、国際交流課職員1名	ベトナム



3/4 静岡大学海外同窓会ベトナム支部第一回同窓会（ハノイ） 前田理事・事務局長、鈴木副学長（センター長）、センター教員2名、国際交流課長・職員1名ほか2名（海外職員研修3名）、グローバル企画推進室教員2名	ベトナム
3/6 ベトナム国家大学ハノイ外国語大学 研修・訪問 センター教員2名、海外職員研修（農学部・研究協力課）2名	ベトナム
3/6 ベトナム国立林業大学 研修・訪問 センター教員2名、海外職員研修（農学部・研究協力課）2名	ベトナム
3/24 トルン・コペルニクス大学 視察・交流協定の検討 センター教員1名、元卒業生（ワルシャワ在住）1名同行	ポーランド
8/22 JAPAN Days in NRCT Research Expo 2017 センター教員1名	タイ
8/23-25 在ミャンマー日本大使館、東京外国語大学ヤンゴンオフィス、大学訪問・日本留学フェア（ヤンゴン） グローバル企画推進室長、センター教員1名	ミャンマー
9/2-3 留学フェア（チェンマイ・バンコク） センター教員1名、職員2名	タイ
9/2-3 日韓理工系学部留学生プログラム推進フェア センター教員1名	韓国
9/25-28 インターアカデミア2017 学長（9/25-26）、教員・学生23名	ルーマニア
9/27 コメニウス大学表敬訪問 学長、センター教員1名	スロヴァキア
9/28 マサリク大学表敬訪問 学長、センター教員1名	チェコ
9/28-10/2 留学フェア（ハノイ、ホーチミン） センター教員1名、職員1名	ベトナム